



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話736-9933
FAX 736-9991

高すぎる国保税は引き下げを

令和4年度国保特別会計決算質疑

8月30日、今尾やすのり議員は「令和4年度春日部市国民健康保険特別会計決算」について、日本共産党市議団を代表して質疑を行いました。

所得階層が200万円未満世帯までの滞納世帯は、8割を超える状況で、払いたくても払えない実態があります。

**所得200万円未満
世帯で滞納の8割超**

国保加入者数は、32,454世帯で人数は47,535人で、年々減少傾向です。国保税の収納率は76.6%で他の税の収納率と比較しても大変に低い状況です。所得階層別の世帯数と人数、滞納世帯数とその割合は、下表の通りです。

所得階層	加入世帯数	滞納割合
43万円未満	14,883	45.9%
43万～100万	4,364	13.4%
100万～200万	6,741	20.8%
200万～300万	3,252	10.0%
300万～400万	1,381	4.3%
400万～500万	623	1.9%
500万円以上	1,210	3.7%

子どもの均等割減免 5市が実施

1世帯あたり保険税額は13万6,258円で40市中32位、一人当たり保険税額は92,064円で40市中27位でした。年収300万円、30代夫婦で子どもが二人の場合の一般的な保険税額は約28万1800円で、年収の一割近い額となつていきます。

滞納世帯への差し押さえは216件で、差し押さえ額は8587万8207円、換価件数と額は、127件で2353万8745円でした。

特定健康診査の受診率は約46.2%で県内順位は第一位です。

県内で人間ドック補助を出しているのは40市中36市に上ります。

子どもの均等割り減免の県内の状況は、川口市、越谷市

など、県内40市中5市で多子世帯などへ一定の減免をしていることがわかりました。

今尾議員は、「国保財政については所得が少ない人が多く保険税額が高騰してしまうという構造的な問題があり全国知事会や市長会などからも国への財源支援を求めています。物価やエネルギー価格の高騰などで市民の暮らしはますます厳しさを増しています。子どもへの均等割減免も含めて国保税引き下げの検討をすべきと思います。検討はされなかったのでしょうか?」と問いました。

健康保険部長は、「国も県も一般会計からの繰り入れをやめるよう指導しており、多子世帯への子どもの均等割減免も指導の対象となる可能性ががあります。今後も適切に対応してまいります」とし、保険税引き下げや子どもの均等割減免に消極的でした。

高齢者憩いの家を保健センターへ 豪雨災害から市民の命、財産を守れ



大野とし子議員一般質問

9月7日、大野とし子議員は①庄和高齢者憩いの家を庄和保健センター跡地に②豪雨災害から市民の命、財産を守れ

③地元農産物を生かして、庄和地域も自校給食にについて一般質問を行いました。

ゆったりできる場所が 高齢者の施設に最適

庄和高齢者憩いの家を正風館の談話室へ移転する計画が提案され、パブリックコメントが行われました。庄和保健センターの事業

が来年から庄和総合支所で行われ、2025年に役割を終えることもあり、意見の中に「移転先が談話室では狭すぎます。庄和保健センターが役割を終了するならそこを憩いの家にしてほしい」との声があり、再提案しました。

「ゆったりとした空間」「独自の利用で混乱しない」

など保健センター跡地が高齢者憩いの家にふさわしいと再検討を求めましたが、市長から「公共施設マネジメント計画に置いて、施設の複合化を図るとしているので正風館への移転が最善と考えています。利用しやすいようにリニューアルをしっかりと行いたい」との答弁で、再検討の考えは示さ

れませんでした。

18号水路の改修が抜本的な改善策

6月2日の台風2号は、今回も庄和地域に冠水をもたらした、特に被害がひどかった、庄和北部地域と下柳地域を取り上げました。

庄和北部地域は、大雨が降るたび田んぼの稲がもぐってしまいう冠水が起ります。今回もポンプによる排水は3日後でした。

大野議員は、ポンプによる排水は事前に用意し早めに行うこと、抜本的対策として18号水路を、まずは外郭放水路第2立坑まで改修することを求めました。

環境経済部長は、排水は県とも連携し迅速に対応していきたい」と答弁し、建設部長は「18号水路は少しずつでも改修を行っていく」

と答弁しました。

川端ポンプ場の強化で 下柳地域の冠水対策を

下柳地域の冠水対策として、川端ポンプ場の強化を求めました。建設部長は、中川への流入が制限されていて、強化は難しいとのことでしたが、市長より、「早期の中川の改修を国や県に強く要望していく」との答弁がありました。

庄和地域も食材の香りがする自校給食に

市も地産地消をめざし、地元農家と連携して行う「学校給食用農産物の登録制度」に取り組み始めました。この制度を生かしながら野菜の産地である庄和地域も自校給食にすることを求めました。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
9/17(日)村松医院 (内科系) 六軒町549 TEL735-6800 ,ますだ春日部クリニック (小児科系) 中央4-8-12 TEL606-3101 杉浦眼科・豊春分院 (外科系) 上蛭田259-2 TEL754-2333
9/24(日)山本内科医院 (内科系) 牛島956-1 TEL755-7500 ゆりのき医院 (小児科系) 谷原1-16-20 TEL752-3535 松浦婦人科専門クリニック (外科系) 一ノ割1-5-1 TEL735-7851